

SAKASO

「さかそう」

ご自由にお持ちください

特集 専門職に聞いてみよう

がん化学療法看護認定看護師のこと。



2024.6 Vol.66

お知らせ

新たに坂総合病院に入職した、新入医師をご紹介します！

この春から、坂総合病院に13名の初期研修医が加わりました。4月よりそれぞれが担当する科に配属され、医師としての一歩を踏み出したところです。どうぞよろしくお祈りします！



〈後列左から〉

知花 ひかり(ちばな ひかり) 琉球大学卒
相原 永知(あいばら えいち) 東北大学卒
杉山 周平(すぎやま しゅうへい) 岩手医科大学卒
山田 陽太(やまだ ひなた) 東北医科大学卒
稗田 礼文(ひえだ れぶん) 山形大学卒
千葉 晃希(ちば こうぎ) 東北大学卒
三浦 友裕(みうら ともひろ) 東北大学卒

〈前列左から〉

佐藤 絵里子(さとう えりこ) 東海大学卒
町野 ひろみ(まちの ひろみ) 弘前大学卒
岡田 瑞央(おかだ じゅおう) 東北医科大学卒
尾形 朝也(おがた さくや) 秋田大学卒
坂倉 拓矢(さかくら たくや) 秋田大学卒
渡部 元太(わたなべ げんた) 愛知医科大学卒

診療予約・変更・お問合せ

まずはコールセンターへお電話いただきご確認をお願いいたします。

コールセンター 022-361-8288

- 平日 8:30~16:30(小児科のみ8:00~)
- 土曜 8:30~11:30(小児科のみ8:00~)

※日曜・祝祭日、年末年始(12/30~翌年1/3)、8/16(お盆)は休業。

- ◎紹介状をお持ちの方は、必ずその旨をお伝えください。
- ◎上記時間以外で救急診療のお問合せは、病院代表番号(022-365-5175)にお電話をお願いします。

詳細はwebサイトでもご確認いただけます。

坂病院 🔍 検索 <https://www.m-kousei.com/saka/>



電車の場合 ▶ JR仙石線・下馬駅下車。駅前が当病院です。

お車の場合 ▶ 第三駐車場は、当院ご利用の方は無料です。第三駐車場と病院間の送迎バスを運行しています。

表紙について

病院の目の前にある、本間さん行きつけのラーメン店。いつも注文する「漆黒の中華そば」は、「あっさりとした味わいが好き」とのこと。気持ちのいい食べっぷりを見せてくれました。

●表紙撮影/中華そば 蒼穹

SAKASO 坂総合病院 広報誌「さかそう」
2024年6月1日発行

坂総合病院
SAKA GENERAL HOSPITAL

〒985-8506 宮城県塩釜市錦町16-5 <https://www.m-kousei.com/saka/>
【広報誌に関するお問合せ】Tel 022-365-5175(代)



毎回特集内容を変え、病気や病院のあれこれを発信。今回は「がん化学療法看護認定看護師」について紹介します。

特集

専門職に聞いてみよう

がん化学療法看護認定看護師のこと。



本間さんの仕事では、看護師同士はもちろん、医師や薬剤師など他職種との密な連携が欠かせない。薬剤の特性について情報を提供したり副作用について相談を受けたりしながら、患者さんの治療を共に考えていく

塩釜市を中心に地域の医療を支える坂総合病院。適切な治療と高度な技術で人々を支えています。今回は、がん患者さんとがん治療の場づくりに携わる「がん化学療法看護認定看護師」について聞きました。

本間 裕樹 (ほんま ゆうき)

秋田県出身。2013年、坂総合病院に入職。幼い頃から医療従事者を目指し、「患者さんのベッドサイドに長くいられる仕事に就きたい」という理由から看護師を志す。2019年、がん化学療法看護認定看護師の資格を取得。医師や薬剤師などと連携し、チームによるがん診療にも携わる。

「手を差し伸べてあげたい」その思いが資格取得の原点

坂総合病院に入職し、最初に配属されたのは呼吸器内科病棟。肺がんの痛みと闘う患者さんや呼吸のつらさから気持ちが悪さを感じ込みがちになる患者さんが多く、「なんとかしてあげたい」という思いから呼吸に関する知識と技術を習得し、呼吸療法認定士の資格を取得しました。その後、さらに呼吸器やターミナルケアについて勉強を深めていきたいと思っていた時に「認定看護師の資格取得に挑戦してみないか」と病院から背中を押されたことでがん化学療法看護認定看護師の資格を取得し、現在に至ります。

患者さんの心に近い看護師でありたい

がん化学療法看護認定看護師としての私の仕事は、抗がん剤を安全に取り扱うことを前提に、薬の投与管理や患者さんの副作用に対して支援を行うことをメインにしています。職員から依

頼を受けて、副作用や薬を扱う際の健康被害について学習会を開くこともありましたが、資格を取得してからは、患者さんとの距離がより近くなったように感じます。きっと知識も経験も増えたことで、患者さんの困り事に対して私から提案できる選択肢が増えたからでしょうね。しかし症状のマネジメントは当たり前に対処される一方で、心のケアは後回しになりがちです。だからこそ私から患者さんに飛び込み、適切な時期と適切な量で患者さんに正確な情報を伝えることを大事にしたいと思っています。そして、悩みや不安を一緒に考えてあげられる存在になりたいです。

語りの場でありながら生きがいを得られるサロンに

2023年の年末、がんサロンがオープンしました。がんサロンとは、がん患者さんとそのご家族が集い語り合える場のことです。開設のために本格的に始動したのは2年前。がん診療支援

がんサロン「みんなの部屋」がオープンしました

がん患者さんとそのご家族に向けた「語りの場」です。現在は坂総合病院のがん診療に携わるスタッフが会話に参加しています。



- 場所 / つばさくらぶ 2階(坂総合クリニック2号館向かい)
- 時間 / 毎月第2・4金曜 13:00~15:00
- 対象 / がん患者の方とご家族
- 予約 / 不要
- 問合せ / 坂総合病院 022-365-5175
([「がんサロン問合せ窓口につないでください」とお申し出ください])
※感染対策上、入室制限を行う場合があります

委員会から開設の許可をいただき、院内の後押しを受けながら、がんサロンプロジェクトチームメンバー(がん専門相談員富山光江、医療相談課吉田真理、がん相談員小原喜久子、地域健康課佐藤悠耕・庄司圭一)と共に準備を重ねてきました。オープン以降、利用者の方には好きなことを語ってもらっています。もちろん相談も受け付けていますが、あくまでもここは自由な語りの場。「もっ

としっかりこのサロンのことをアピールしなきゃ！」なんて意見をいただくこともありましたが、現在がんサロンは私たちが中心となって運営していますが、いずれは利用者の方が主体となってこの場を育てていただきたいです。自分たちがこの語りの場をつくったのだという手応えが、きっとがん患者さんの生きがいや社会とのつながりになるはずだと思っています。

#11 運動不足解消に役立つ室内運動⑦

日々の生活に運動を取り入れることで、エネルギー代謝の向上や筋力アップにつながります。負荷の少ない室内運動を継続して、これから迎える暑い夏に負けないための体力づくりに励みましょう。

肩の痛みを予防・改善する「肘の開閉運動」

- 1 両肘を90度くらいに曲げる。親指を上に向けた状態でごく軽く拳を握り、両肘を胴体の側面につける。
- 2 肘はつけたまま、無理のない範囲で両腕を横に開き、また元の閉じた状態に戻す。
- 3 この開閉動作を10回程度、2〜3セット行う。

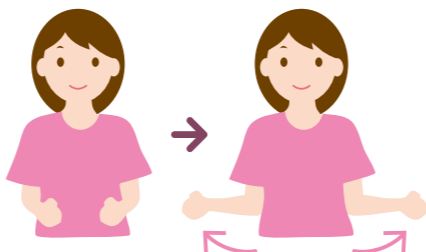
10回程度
2・3セット

〈注意点〉肩や背中が痛む場合は回数やセット数を減らし、がんばり過ぎないようにする。腰は反らさず肩甲骨の動きを意識して行うとより効果が高まる。

「運動療法センターのびのび」とは…?

坂総合クリニック1号館6階にあるメディカルフィットネス。健康増進・疾病予防運動、生活習慣病の運動療法、介護予防運動などを実践する施設です。

※現在は感染症対策のため、特定の病気の重症化予防を目的として個別にご利用いただいています



栄養手帖 ■■ -食養室だより-

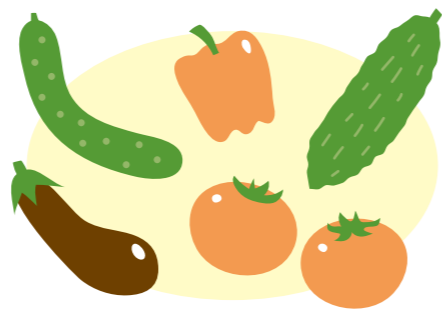
夏バテ知らずの身体を作ろう!

「食欲がない」「体がだるくなる」といった夏バテに困ることはありませんか？ 旬を感じる、栄養たっぷりの食材選びが大切です。



① 夏野菜を食べよう!

水分やビタミンが豊富な夏野菜。熱がこもった身体を内側からクールダウンしてくれるだけでなく、疲労回復効果や紫外線から肌を守る働きもあるため、キュウリやナス、ゴーヤ、パプリカなどの夏野菜を積極的に摂りましょう。ビタミンCやクエン酸を含み、疲労回復や食欲増進に効果があるトマトがおすすです。



② 量より質を意識しよう!

汗をかいた後、体力を付けるためにたくさん食べようとする胃腸に負担がかかってしまいます。主食・主菜・副菜をバランスよく摂取することを基本に、食欲がない時は肉や魚、大豆製品でたんぱく質を摂取するようにしましょう。香味野菜や酸味のあるもので調理すると食欲アップにもつながります。



支えるひとたち



第38回
がん化学療法看護
認定看護師

坂総合病院を、そして患者さんを支える人々。その「人となり」に迫ります。

外来化学療法センターで、通院しながら治療を受ける患者さんに向けた安全・安楽・確実ながん薬物療法の投与管理を行っています。患者さんと一緒に副作用の対処方法を考え、生活状況に合わせた指導を行うのも業務のひとつです。仕事では「仕方ない」という言葉で物事を片付けないことを大切にしています。副作用だから仕方ないではなく、患者さんやご家族と一緒に何かしらの手立てを考えたいのです。がん化学療法看護認定看護師を目指したきっかけは、白血病の副作用で悩む患者さんを間近で見たことです。その姿に「看護の力で症状を和らげることができないだろうか」「何か力になれることはないだろうか」と熱い思いが込み上げました。今後は患者さんの心にも目を向けながら看護に当たり、スタッフの教育にも力を注いでいきたいです。

次号は

（地域医療連携室 事務職）
須田 里歩

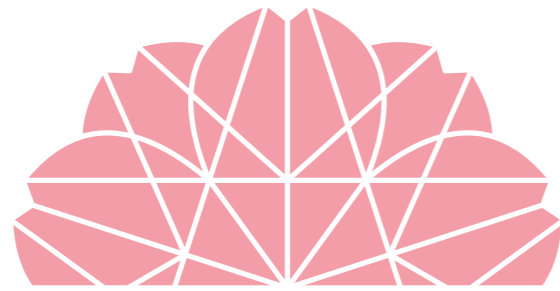


がん治療を行う方などに向けて開発された医療用ウィッグ。着用方法はもちろん、購入する際には自治体の助成制度もご案内しています。



加藤 久美子 (かとう くみこ)
がん化学療法看護認定看護師

坂総合病院のロゴが新しくなりました！



坂総合病院 SAKA GENERAL HOSPITAL

2024年春、坂総合病院の新しいロゴが完成しました。職員からデザイン案を募り、応募総数24作品の中から職員による投票で決定したものです。早速、新たに制作した病院パンフレットのデザインに採用し、このSAKASOの裏表紙にも掲載しています。今後は多くの方の目に届くよう活用していく予定です。坂総合病院と合わせて、地域の方に親しんでいただける存在になることを願っています。

デザインのモチーフは？

坂総合病院がある塩竈市の木・シオガマザクラをモチーフにしました。シオガマザクラとは国の天然記念物に指定された、花弁が40片にもなる大輪の八重桜。その大輪が咲き誇る様子と、日本の伝統である折り紙から連想されています。鹽竈神社の境内に数多く植えられていますが、坂総合病院の第一駐車場の敷地内にもシオガマザクラの木が植えられています。

デザインのコンセプトは？

坂総合病院がいつも大切にしている“親しみ”や“安心感”をコンセプトにしました。また、折り紙はかつて「折方礼法」と呼ばれ、贈答品に心を込めて包み渡す礼法であったことから、坂総合病院が患者さんや地域の皆さんを大切に思うその気持ちもこのロゴに込めています。

ロゴ制作にまつわるエピソードを教えてください

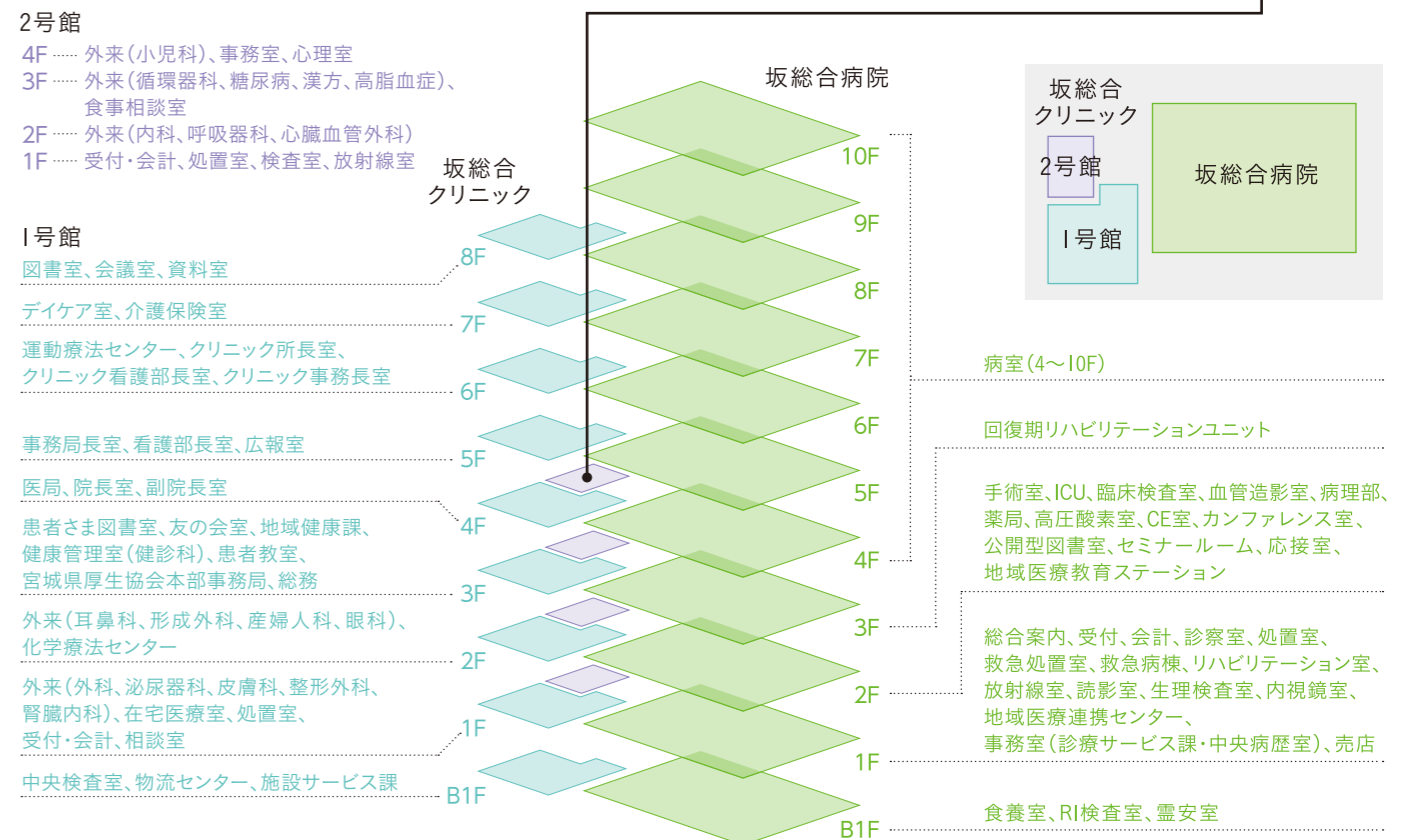
地域の皆さんが目にした時にひと目で地域性を感じるものにしたいと考え、塩竈に古くから馴染みが深いシオガマザクラをモチーフに選びました。また、ただのサクラではつまらないと思っていたところ、制作中に折り紙に“折りを込める”という意味があることを偶然知り、気に入ったことから、ふたつのモチーフを組み込んだロゴを制作しました。(ロゴを制作した職員より回答)



坂本一真・高橋尚子
(さかもと かずま・たかはし なおこ)
心理療法士

臨床心理士・公認心理師は心の健康の回復・保持・増進に関する専門資格です。定期的な対話の中で心理的ケアや課題解決を目指す「心理面接」や、一人の力やパーソナリティを捉える「心理検査」、正確で活用できる知識を伝える「心理教育」などから患者さんを支えます。また、心理的な視点から各診療科へ治療・支援方針を提案する

ことや、小児への発達・知能検査、高齢者への神経心理検査、成人を対象とした各種心理検査や心理面接も行っています。心の理解やケア・治療は、安定した対人関係があつて初めて進みます。そのため二人三脚の様な関係性の構築を心がけ、患者さんご本人の力を大切に、専門性に基づくオーダーメイドな支援や見通しを熟慮しています。患者さんの十分なケアには多職種連携が重要なため、すべての職種とスタッフにリスペクトを忘れず、患者さんのよりよい日常生活を考えた協働関係の構築も心がけています。社会的・心理的ニーズが高まる中、患者さんご家族や職場、地域の皆さんにも知識を持つていただき協働することが心身の健康にとっても重要です。患者さんと真摯に向き合いながら、正確で活用できる知識やセルフケアの方法も広く伝えていきたいです。



職場紹介

心理室